

六月二十三日沖繩戦終結から七十四年目の沖繩全戦没者追悼式で朗読された「平和の詩」の全文です。

本当の幸せ

糸満市立金城小学校6年

山内玲奈さん

青くきれいな海
この海は

どんな景色を見たのだろうか
爆弾が何発も打ち込まれ
炎で包まれた町

そんな沖繩を見たのではないだろうか

緑あふれる大地

この大地は

どんな声をきいたのだろうか

けたたましい爆音

泣き叫ぶ幼子

兵士の声や銃声が入り乱れた戦場

そんな沖繩をきいたのだろうか

青く澄み渡る空

この空は

どんな事を思ったのだろうか

緑が消え町が消え希望の光を失った島
体が震え心も震えた

家族で平和について話す
事ってありますか？戦後に育った
私達は夏は、平和についてよく先生
や祖父母から話を聞いたもので
す。平和の大事さを語り継ごう！

えんちょう先生の わくわくだより

NO. 7 7/2

外でこども達と遊んでいた先生がこんな話をしてくれました。山に掛かった雲（霧）が上に上にと登っていくのを指差して「あれ見てみ 雲が空の上に登っていくね」それを聞いていた3才のS君、「あれは、鬼がパンを焼いている煙じゃあない？」・・・と。S君は、家でパンを焼いた時に出た煙を思い出したのでしょうか？ちょっと焼きすぎて煙が出たのでしょうか？山に住んでいる鬼か？空の上の雷か？を思い出したのかもしれませんが。こどもの感性っていいですね。

6月29日には、年長、年少の保護者の皆さんに作業をして頂きありがとうございました。2つのプール作り、園舎裏の草取りや通学路の清掃、ぐみの木の剪定や下駐車場、歩道の草刈、側溝の掃除等と盛り沢山の作業でしたが、手際よく進めて頂いたお陰で、あちこちとてもきれいになりました。7/1日には、年長さんがプール掃除をしてくれ、今日は降っていた雨もやみ、水遊び程度ではありましたが、こども達は大喜びで、プール開きが出来ました。事故がない様に、プールには、監視専門の職員も必要となります。事故や怪我のない様に、楽しいプール遊びをしていきたいと思っています。



0才児、いちご組に2名のお友達が入園しました。5名になったチビッ子達は、泣き声共に大賑わいです。

年長さんは、「わくわくチビッ子祭り」に向けた取り組みに大忙し。廊下に揺れるおばけが怖い？かわいい？です。お家の方からダンボールや卵パックのご協力、ありがとうございます。

保育の中から・・・

年中さんの部屋の前のトマトの苗にかわいい黄色い花が咲きました。「美味しいトマトよ生れ！」と、待っています。

ひよこさんはカタツムリ、うさぎさんは、お星様の七夕飾りを作ったよ

プール開きを前に、年少組さんは、自分の服を脱いで、たたんで、プール袋の上にタオルを用意して、自分で水着を着てみる。そして、プールから出た後を想定し、頭をシャワーで洗って貰ったら、身体を拭き、水着を片付ける・・・その練習を何度かしたようです。家で、大人が一人ずつ付いても水遊びの始末は大変ですが、園で一斉にプールに入ろうとすると、想像を絶するてんでこ舞いを考え、年少の先生達は前もって練習をさせた様です。「シャワシャワ～はい、シャワーが終わったよ。タオルでよく拭いてね」の先生の声掛けにニコニコと顔を拭く真似をして衣服を身に付けていきました。こどもが不安にならない様に、前もって手順の確認や練習をする。先を見通した先生達の保育に「いいね！」と思いながら見守りました。

ありがとうございました

プール開きは練習の
成果ありでしたよ。

今年も、一二三会様、株式会社尾崎様より、岩村こども園に沢山の寄付を頂き、遊戯室のコンボやワイヤレスマイク、園庭の花々や芝刈り機、鍬など、こども園の生活に必要な物を購入させて頂きました。岩村の子ども達の為に本当にありがたい事です。これで夏の講演会もマイクの声が途切れず安心です。ありがとうございました。もし、出会われる事がありましたら、お礼を言って下さいね。



「命どう宝」
生きているから笑い会える
生きているから未来がある
令和時代
明日への希望を願う新しい時代
が始まった
この幸せをいつまでも



♥手足口病を疑う赤いぼろ(中が白くなっています)があったら、熱、口の中を気に掛けて見て下さい。掛かって一週間位で治る感染症ですが乳児～4才くらいに多く、口の中に出ると痛くて物が食べられない事もあります。まれに脳炎や髄膜炎にもなる事があり、気を付けてみましょう。未満児クラスに何人か出ていますので、入浴時など、見てやって下さいね。